【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年3月24日(2022.3.24)

【国際公開番号】WO2018/115770
【公表番号】特表2020-501730(P2020-501730A)
【公表日】令和2年1月23日(2020.1.23)
【出願番号】特願2019-532771(P2019-532771)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｄ３４/０４(２００６.０１)
Ａ４６Ｂ　５/００(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｄ３４/０４　５１０Ｄ
Ａ４５Ｄ３４/０４　５１５Ｚ
Ａ４６Ｂ　５/００　　Ａ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和4年3月15日(2022.3.15)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１つの空洞を有するコア（２０）と、前記空洞をコアの外部に通じさせる側面穴（２４）とを含み、前記側面穴（２４）が千鳥状に配置されることを特徴とする睫毛用化粧品のアプリケータ（１２；３２）。
【請求項２】
前記コア（２０）は、前記アプリケータの主軸（１８）に垂直な平面でコアの任意の１つの断面が凸面になるような形状を有する、請求項１に記載のアプリケータ。
【請求項３】
前記側面穴（２４）の少なくともいくつかが、前記アプリケータの主軸（１８）に平行な長軸を有する、請求項１および２のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項４】
前記側面穴（２４）が、前記アプリケータの主軸（１８）に垂直な平面に延びる複数のクラウンを形成し、前記側面穴（２４）の少なくともいくつかは、それらの長軸に沿って上方および下方の頂点を有し、少なくとも１つの前記側面穴（２４）の上方の頂点は、それよりも上にある連続する１つのクラウンの少なくとも１つの側面穴（２４）の下方の頂点よりも前記アプリケータの遠位端に近い、請求項３に記載のアプリケータ。
【請求項５】
前記側面穴（２４）が、前記アプリケータの主軸（１８）に垂直な平面に延びる複数のクラウンを形成し、１つのクラウンの２個の側面穴（２４）の間の距離が、前記クラウンの平面に沿って、２個の側面穴（２４）のうちの一方の側面穴（２４）の大きい方の寸法未満である、請求項１から４のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項６】
前記側面穴（２４）が、前記アプリケータの主軸（１８）に平行な複数の列を形成し、１つの列の２つの側面穴（２４）の間の距離が、主軸（１８）に沿って、２個の側面穴（２４）のうちの一方の側面穴（２４）の大きい方の寸法未満である、請求項１から５のいずれか一項に記載のアプリケータ。

【請求項７】
前記側面穴（２４）の少なくともいくつかが多角形である、請求項１から６のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項８】
前記側面穴（２４）の少なくともいくつかが菱形である、請求項１から７のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項９】
前記側面穴（２４）の少なくともいくつかが同一であり、好ましくはすべての側面穴（２４）が同一である、請求項１から８のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１０】
各側面穴（２４）が、前記空洞に向かって配向された法線方向の一段と小さい断面を有し、前記側面穴（２４）の一段と小さい断面の集合が前記コア（２０）の壁の面積の半分未満を占有する、請求項１から９のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１１】
前記側面穴（２４）が、前記アプリケータの長さの半分未満を形成するアプリケータ区間に延び、前記アプリケータが、好ましくは、このアプリケータの長さの半分以上にわたって突起（３０）を含む、請求項１から１０のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１２】
各側面穴（２４）が、コアの１周の２０％未満、好ましくは１周の１５％未満、たとえば１周の１０％未満にわたって延びる、請求項１から１１のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１３】
前記側面穴（２４）の少なくともいくつかが少なくとも１つの外側の面取り部（２６、２８）を有する、請求項１から１２のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１４】
突起（３０）を含み、すべての突起が完全に前記側面穴（２４）の外に延びている、請求項１から１３のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１５】
前記菱形の側面穴（２４）の少なくともいくつかが８個の突起により囲まれており、すなわち、４個の突起が前記側面穴（２４）の４個の頂点に向かい合って延び、４個の突起が、前記側面穴（２４）の各辺の中央に向かい合って延びている、請求項８および１４に記載のアプリケータ。
【請求項１６】
前記アプリケータの主軸（１８）に平行な列を形成する複数の突起（３０）を含み、前記列の少なくともいくつかが、互いに異なる数の突起を有している、請求項１から１５のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１７】
前記アプリケータの主軸（１８）に垂直なクラウンを形成する複数の突起（３０）を含み、前記クラウンの少なくともいくつかが、互いに異なる数の突起を有している、請求項１から１６のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１８】
単一部品からなる、請求項１から１７のいずれか一項に記載のアプリケータ。
【請求項１９】
化粧品のリザーバと、請求項１から１８のいずれか一項に記載のアプリケータとを含む化粧品（２）。
【請求項２０】
請求項１から１８のいずれか一項に記載のアプリケータ（１２；３２）の付加合成による製造方法であって、
－前記アプリケータに関するデータを得る工程、および、
－データにより前記アプリケータを付加合成する工程

を含む製造方法。
【請求項２１】
請求項２０に記載の方法の実施を命令するためにコンピュータプログラムにより使用可能なデータを含む、情報処理ファイル。
【請求項２２】
請求項２０に記載の方法を実施可能なデータを記録された形態で含む電子記録媒体。
【請求項２３】
遠隔通信ネットワークでダウンロードするために請求項２１に記載のファイルを利用提供する方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００４】
このため、本発明によれば、睫毛用の化粧剤のアプリケータは、空洞を有するコアと、この空洞をコアの外部に通じさせる側面穴とを含み、この穴が千鳥状に配置(a staggered arrangement)される。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１７】
この形状は、コアの壁における穴の配置を最適化できるので、千鳥状の穴の配置に適している。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５７】
穴２４は、軸１８に平行な直線状の複数列を形成するように配置される。さらに、これらの穴は、軸１８を中心として穴のクラウンを形成するように配置され、同一クラウンの複数の穴は同一平面に延びる。また、穴は千鳥状に配置される。そのため、同一列の隣り合った２個の穴の中心を隔てる距離を、単位と定義すると、１つの列の複数の穴は、隣り合った２列の穴に対して軸方向に半単位オフセットされる。同様に、同一クラウンの隣り合った２個の穴の中心を隔てる距離を、単位と定義すると、１つのクラウンの複数の穴は、隣り合った２つのクラウンの穴に対して周方向に半単位オフセットされる。